ベーシックレベル　漢文

はじめに

「いくつかの句法をお経のように唱えて覚えたケド、それしかわからない」という人、たくさんいると思います。
それどころか、現時点で漢文の知識なんてほぼゼロだ…という人もいることでしょう。
そんな人でも大丈夫！
この講座は基本事項から講義しますので、「今から初めて漢文を勉強する」という人、大歓迎！です。

漢文って確かに一見、漢字だらけで変な記号がくっついていて、意味不明に思うかもしれません。
ですが、漢文は入試科目の中で、おそらく**一番少ない知識で高得点が取れる科目**です！
ただし、古文文法の知識がないと少しやっかいなので（漢文は中国の古典で、その文献が伝わった昔、日本語に訳して読みやすくする訓読方法を確立したから）、まずは古文文法を仕上げてくださいネ。

本講座は**「ベーシックレベル」**ですが、「基本だけ学ぶ」という意味ではありません。
基本から説明をして、入試問題を解くために必要な力もつくように構成してあります。

『スタンダードレベル漢文講座』との大きな違いは、

- **各チャプター時間が短時間**〔チャプターの途中で集中力が切れてしまわないように。〕
- **用例ごとの例文が豊富**〔なるべく有名な文章から取り上げました。学校の授業で見かける文もあるはず。〕
- **句法の学習の後には、教科書でも扱うような有名な文章にも取り組む**〔学校の予復習に最適。〕

●大事なことは繰り返し説明〔何度も同じことを聞くことにより、自然と復習していることになる。〕
●丁寧にじっくり解説〔わかる人には冗長に感じるかも。ですが、**「じっくり何度も確実に！」**の姿勢で。〕

「漢文なんてとりあえず句法やればいいんでしょ？」なんて思っている人もやっぱりいますよね？
でも、「句法だけひとまず勉強したけど、なかなか問題が解けない…」
そんな悩みを抱えている受験生もたくさんいるのが現実です。
――なぜでしょう？
実は**漢文で大事なことは、句法だけではありません**。
一番基本となる**「文構造」**や**「『置き字』の知っておくべき知識」**を理解できていないと、漢文は正しく読めません。
これらを理解しておくだけで、簡単に解けてしまう問題だってあるくらいです。
なのに「句法」ばかりが重要視され、これらをきちんと理解していないことが原因です。
本講座では、最初に基本知識をきっちり学んだ上で、入試に必要な「重要句法」に取り組みます。
漢詩を扱った後は、文章を読む練習をし、最後に実際の過去問を使用した実践演習にチャレンジ！
基本からしっかり理解して、実践演習で問題が解けるように、最後まで一緒に頑張りましょう！

ベーシックレベル　漢文

予復習・授業の受け方について

「実践演習」までは予習不要です。
ノートも不要です。
テキストと筆記用具さえあれば大丈夫です。
テキストへの書き込みで授業をすすめていきます。

テキスト中に**〈例題〉**や**「問題」**がありますが、講義中に問題を指定しますので、該当問題を適宜解いてください。

「実践演習」は予習が必要です。
よって、**動画を見る前に先に問題を解いてください**。
予習が終わったら、なるべく時間をあけずに該当箇所の動画を見ましょう。
自分がその解答にした根拠を覚えている間に見ることをオススメします。

講義を見終えたら、復習を必ずしてください。
特に**太字**や**空欄に自分で書き込んだところ**に重点を置いて、覚えこむまで何度も復習してください。
復習が終われば、後ろにある**「確認問題」**を解きましょう。
確認問題は何度でもできるように、答えは直接書き込まないようにしてください。
万一間違えた場合は、テキストの該当箇所に戻って復習をしてから、再度「確認問題」を解き直しましょう。
記憶を定着させるツールとして、何回でも使用してくださいネ！

目次

第14講　詠嘆形・仮定形　p. 6
第15講　比較形・限定形　p. 18
第16講　累加形・願望形・抑揚形　p. 30
第17講　その他の句法・複数の句法に使用される漢字　p. 44
第18講　漢字の読み／意味・漢詩の基礎知識　p. 58
第19講　漢詩・「漱石枕流」　p. 76
第20講　「先従隗始」・「蘇武持節」　p. 88
第21講　「鴻門之会」　p. 96
第22講　「四面楚歌」・漢文読解法・実践演習⑴　p. 104
第23講　実践演習⑵　p. 116
第24講　実践演習⑶　p. 126
第25講　実践演習⑷　p. 138
第26講　実践演習⑸　p. 150

第14講　詠嘆形・仮定形

PART1　詠嘆形

二　詠嘆形

① **不亦（また）A乎。　＝またAずや／（なんとまあAではないか）**

＊乎＝哉

（例）**不亦楽乎。**　（　　　　　　　　）（　　　　　　　　）

② **豈（あ）ニ不A乎。　＝あニAずや／（なんとまあAではないか）**

＊乎＝哉

★　豈不～乎＝「**豈に～ざらんや**」と読めば「　　　　」の意味になり、（　　　　　　　　）と訳す。

（例）**豈不学乎。**　（　　　　　　）（　　　　　　）

豈不遠乎。　（　　　　　　）（　　　　　　）

③ **何**ゾ**（其**レ**）A（＝連体形）（也）。＝なんゾ（そレ）A（や）／（なんとAではないか）**

（例）

何其浅**也**。〔　　　　　　　　〕（なんと浅薄であろうか。）

何楚（そ）人（ひと）之多**也**。〔　　　　　　　　〕（　　　　　　　　）

④ **A（**＝連体形**）哉**（かな）**、N也**（や）**。**＝**Aかな、Nや／（Aだなあ、Nは）**

（例）美**哉**、花**也**。〔　　　　　　　　〕（　　　　　　　　）

⑤ **～乎・哉・矣・夫・与**。＝**～かな／（～だな）**

（例）嗚呼（ああ）美**哉**。〔嗚呼美しきかな。〕（ああ、美しいなあ。）

⑥ **宜**（むベナル）**乎**。＝**むベナルかな／（もっともだな）**

＊乎＝哉

⑦ 已（やンヌル）矣乎（かな）。＝ヤンヌルかな／（もうだめだ・どうしようもない）

問五　「不㆓亦宜㆒乎。」の読み方として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　またよろしからず。
イ　またむべならずや。
ウ　またもむべならざらん。
エ　またよろしくせざるなし。
オ　またもよろしくすべからざるなり。

問六　「何其壮也」を書き下し文にし、また口語訳もせよ。

注　壮…形容動詞「壮なり」。いさましく元気な様子。

〈書き下し文〉

〈口語訳〉

〈Memo〉

第14講　PART1　確認問題

①　文の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

不㆓亦君子ナラ㆒乎。

ア　これこそ、再び優れた君子になるために必要なことだったのだなあ。
イ　どうして優れた君子になれようか、いや、なれない。
ウ　このようなふるまいをする人は、優れた君子と言うべきではない。
エ　いかにも、優れた君子と言うべきではないか。

②　「豈不㆓誠廉士㆒哉。」を詠嘆の意味になるように読んだものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　あにまことのれんしならざらんや。
イ　あにまことのれんしならんかな。
ウ　あにまことのれんしならずや。
エ　あにまことのれんしならざらん。

③「何ゾ其レ久也。」の傍線部の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ひさしく　　イ　ひさし　　ウ　ひさしき　　エ　ひさしけれ　　オ　ひさしかれ

④「賢哉回也。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

注　回…人名。孔子（こうし）の弟子、顔回（がんかい）のこと。

ア　賢明なことだなあ、顔回は。
イ　顔回のように賢明だなあ。
ウ　賢明なのは顔回だろうか。
エ　顔回は賢明なのだろうか。

⑤文は、どれも詠嘆の意を表している。傍線部の読み方が他と異なるものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　悲シイ夫。　　イ　唯我ト与レ爾有ルレ是レ夫。
ウ　嗚呼哀シイ哉。　　エ　管仲之器小ナル哉。
オ　不二亦遠一カラ乎。　　カ　已ンヌル乎矣。

解答

第14講　PART1　解答

二

① 〔亦楽しからずや。〕（なんと楽しいではないか。）

② ★「反語」（どうして〜しないだろうか、いや、する）
〔豈に学ばざらんや。〕（どうして学ばないだろうか、いや、学ぶ。）
〔豈に遠からずや。〕（なんと遠いではないか。）

③ 〔何ぞ其れ浅きや。〕
〔何ぞ楚人の多きや。〕（なんと楚の人〔＝兵〕が多いことよ。）

④ 〔美しきかな、花や。〕（美しいなあ、花は。）

問五　イ

問六　〈書き下し文〉　何ぞ其れ壮なるや
〈口語訳〉　なんといさましく元気ではないか

確認問題　解答

第14講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① 「不亦～乎。」は、詠嘆の意を表す形。選択肢の中では「～だったのだなあ」としているア、「～ではないか」としているエに絞れる。アは句形に含まれる「亦」を「再び」としているので不適。よって、エが正解。

② 「豈不～哉。」は、「あニ～ずや」と読むと詠嘆、「あニ～ざランや」と読むと反語の意味になる。

③ 詠嘆形「何其A也。」では、Aは連体形に活用する。

④ 書き下し文にすると「賢なるかな回や。」となる。「AかなNや」は詠嘆の句形で、「AだなあNは」という意味。詠嘆が含まれるのはアかイだが、イは「顔回のように」が不適。よって、アが正解。

⑤ オは「不亦～乎。」の形で、ここでの「乎」は「や」と読む。それ以外の「夫」「哉」「矣」はどれも「かな」と読む。

〔解答〕

①　エ　　②　ウ　　③　ウ　　④　ア　　⑤　オ